

ジャンプ!!

令和2年7月28日

高校入試の範囲が発表されました

先週、高校入試の範囲の削減が県教育委員会から発表されました。コロナ禍の休校の影響で中学3年生の授業の進度が遅れていて、入試直前まで新しい単元の学習が続きます。県教育委員会は受験生の負担を考慮して、おもに入試直前に学習する以下の単元を、入試出題範囲から除外しました。(入試の問題には出さないということです。)参考までに、右に7月22日付の上毛新聞の記事を載せます。

●公立高校 前期入試の範囲から除外されるもの

国語	3年の学習の中の「書写」に関するもの
数学	7章「三平方の定理」・8章「標本調査」(3年の教科書P176~209)
英語	3年の学習の中の「間接疑問文」に関するもの

●公立高校 後期入試の範囲から除外されるもの

国語	3年の学習の中の「書写」に関するもの
数学	8章「標本調査」(3年の教科書P198~209)
社会	公民 第5章「地球社会と私たち」 公民 終章「よりよい社会を目指して」 } (公民の教科書P167~212)
理科	単元1「運動とエネルギー」の3章の後半部分(3年の教科書P58~67) 単元3「自然界のつながり」(3年の教科書P115~142) 単元6「地球の明るい未来のために」(3年の教科書P255~298)
英語	3年の学習の中の「間接疑問文」に関するもの

受験生のみなさんとしては、少し受験勉強の負担が減ったというわけです。しかし、上に示した範囲の学習をしなくて良いというわけではありません。中学校では、入試の直前までしっかりと授業をします。

みなさんにとって大切なことは、学校での授業をおろそかにしないことと、入試にそなえた家庭学習(今まで学習したことの復習)に真剣に取り組むことです。来週から、いつもより短い夏休みとなりますが、自分に与えられた時間を有効に使って下さい。

*私立高校の入試出題範囲も、例年より少なくなると思われます。具体的な除外範囲の発表は、9月中に各私立高校から発表される予定です。

上毛新聞の記事は、ここには掲載できません。生徒が持ち帰った学年通信をご覧ください。



各新聞にのっている「出題から除外されるもの」は、新聞社によって書き方が少しずつちがいで、内容が不正確なものもあります。左の表にのせた範囲は、みなさんの使っている教科書に基づいて書いたもので、これが一番正確な情報です。